



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.7
R2.10.26

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

澄みわたる空気が心地よく感じられるようになりました。今回は、居宅ケアマネジャー、サービス提供事業所、地域の事業所、社会福祉協議会、行政職員の皆さんにご参加いただきました。

支援困難事例について検討しました。

今回は、「今後どのような支援が必要か判断に迷うケース」です。このケースに関わっている専門職が集まり情報共有を行うことで、現状や課題について話し合うことができました。

このケースは、高齢夫婦と子が暮らす世帯です。入浴支援を、週に1回利用しておりその時は保清ができますが、それ以外は本人が適切なケアを受けられないままの生活が続いています。サービス量を増やすことを提案しても、金銭面で拒否されてしまいます。

また、本人やご家族は危機意識が乏しく、「特に困っていることはない」と話します。

しかし、本人の収入が、本人への適切なケアに繋がっていない点や子の精神疾患への未治療の点も心配です。

まずは、子が多様なサービスを利用できるように再度病院受診へ繋げることと家族以外の親族との接点を持てるよう多職種で根気強く関わって行くこととなりました。

このようなケースは、解決に時間がかかることがあります。多職種が協力し合いながら、役割分担や情報共有をこまめに行い、問題解決に繋がっていきます。

9月の検討事例の経過報告

★「ご近所に支えられ、何とか在宅生活が成り立っているケース」

ケアマネジャーと地域の方々の連携が深まりました。さらに、情報共有がスムーズになり、支援計画が立てやすくなりました。

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡お願いいたします。

検討事例
募集中



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871